令和７年度当初予算案の概要

資料１

**【1】　編　成　方　針**

府財政は、堅調な大阪経済を背景に、府税収入は過去最大と見込むものの、主たる税収である法人二税の景気による変動に加え、人件費や社会保障関係経費の増加、金利上昇の傾向があるため、引き続き財政規律を堅持する必要がある。

このため、今回の予算編成においては、「府政運営の基本方針2025」に基づき、2025年大阪・関西万博の成功に向けた取組や、新・成長戦略「Beyond EXPO 2025」の検討状況を踏まえ、速やかに着手する必要のある大阪の持続的な成長・発展のための取組に限られた財源を重点配分しました。

**【2】　予　算　規　模**

単位：億円、％

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 区分 | R６当初 | R７当初 | 増減額 | 前年度比 |
| 一般会計 | 31,972 | 32,714 | 742 | 102.3 |
| 特別会計 | 28,903 | 31,107 | 2,204 | 107.6 |
| 計 | 60,875 | 63,820 | 2,946 | 104.8 |

(各表においては、端数処理の関係上、合計と内訳が一致しない場合がある。)

○全体の特徴

|  |
| --- |
| * 府税収入は企業業績の堅調な推移と雇用・所得環境の改善などにより増加し、   当初予算ベースで過去最大（P6）   * 府税収入の増加による税関連歳出の増加に加え、人件費や社会保障関係経費などの   義務的支出が増加（P2、5）   * その結果、収支均衡のための財政調整基金の取崩額は、前年度から減少（P8） |

|  |
| --- |
| （一般会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・市町村への地方消費税交付金などの税関連歳出の増（＋５３８億円）  ・給与改定の実施などによる人件費の増（＋１４１億円）  ・支出が義務付けられている社会保障関係経費の自然増などによる増（＋４６６億円）  ・万博推進局運営費負担金の減（▲２２７億円） |
| （特別会計予算規模における増減の主な理由） |
| ・府債の元金償還等の増加などによる公債管理特別会計の予算規模の増（＋１，２６５億円）  ・地方消費税の増に伴う地方消費税清算特別会計の予算規模の増（＋１，１７５億円） |

|  |
| --- |
| ○一般歳出ベース：２兆５，４４０億円、前年度当初比 １００．４％、９１億円の増。  （公債費、税関連歳出、基金への積立金を除く歳出合計） |
| ○義務的支出：２兆１，１０８億円、前年度当初比 １０６．４％、１，２６２億円の増。  （人件費、公債費、税関連歳出、社会保障関係経費（義務的経費）の合計） |

・一般会計当初予算の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９ | H３０ | R１ | R２ | R３ | R４ | R５ | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 歳出総額  （調整前）  一般歳出 | 26,393  （30,866）  19,803 | 25,543  19,513 | 25,983  20,098 | 26,368  19,841 | 35,086  28,240 | 37,798  31,060 | 36,421  29,573 | 31,972  25,349 | 32,573  24,592 | 32,714  25,440 |

＊H29年度以前の歳出総額は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

**【3】　一般会計の内訳**

**１　歳　出**

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ○人　件　費：７，２３７億円（前年度当初比 １０２．０％、＋１４１億円）  給与改定の実施による増加などにより、１４１億円の増。 | | | | | | | |
| 令和７年度 | | 対前年度比 | |
| ・条例定数  （一般会計） | 知事部局  教育庁（小中高等学校教職員等）  公安委員会（警察職員）  その他 | 7,250  44,138  23,303  194 | 人  人  人  人 | 0  ＋ 530  ＋ 11  0 | 人  人  人  人 |
| 計 | 74,885 | 人 | ＋ 541 | 人 |

・人件費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９  決算 | H３０  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 人件費  給料等  退職手当 | 6,793  6,285  508 | 6,726  6,222  504 | 6,736  6,269  467 | 6,671  6,231  440 | 6,600  6,186  415 | 6,764  6,355  409 | 6,591  6,412  179 | 7,095  6,740  356 | 7,145  6,776  369 | 7,237  7,030  207 |

|  |
| --- |
| ＜参考＞令和６年度の主な給与改定について  １　給料表の改定（３．３２％）　　　　　　　【実施時期：令和６年４月１日】  ２　期末勤勉手当を０．１月分引上げ　　　　　【実施時期：令和６年６月期・１２月期】 |

|  |
| --- |
| ○公債費：３，３３７億円（前年度当初比 １０３．６％、＋１１７億円）  最終償還を迎える府債の元利償還や、府債の満期一括償還に備える積立金の増加などにより、１１７億円の増。 |

・公債費、府債残高の推移（一般会計）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 公債費  *(参考)府債残高* | 3,128  *53,661* | 3,159  *53,626* | 3,260  *53,575* | 3,237  *54,042* | 3,320  *55,546* | 3,376  *54,014* | 3,316  *52,832* | 3,220  *51,758* | 3,395  *51,151* | 3,33７  *48,939* |

＊府債残高は、臨時財政対策債等を含む数値。府債残高については、７ページ参照。

|  |  |
| --- | --- |
| ○建設事業費： | １，８４８億円（前年度当初比 ９３．４％、▲１３１億円）  大阪の成長を実現する新たなインフラ整備など、府にとって必要性・緊急性が高い事業について、計画的に整備を推進。  モノレール道整備にかかる国庫補助事業が増加する一方で、大阪公立大学新キャンパス整備関連事業の進捗による減少などにより、１３１億円の減。 |

・建設事業費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 建設事業費  補　　助  うち国直  単　　独 | 1,513  855  58  658 | 1,592  902  73  690 | 1,519  886  84  634 | 1,469  971  106  497 | 1,567  996  112  571 | 1,604  883  85  721 | 1,675  904  87  772 | 1,979  888  94  1,091 | 1,859  894  94  965 | 1,848  901  76  947 |

|  |  |
| --- | --- |
| ○一般施策経費：  ＊義務的経費（扶助費）  を含む。 | １兆６，４７０億円（前年度当初比 １００．５％、＋７７億円）  中小企業向け制度融資預託金の減少があるものの、支出が義務付けられている社会保障関係経費の増加などにより、７７億円の増。 |

・一般施策経費の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９  決算 | H３０  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般施策経費  うち貸付金  うち補助金等 | 10,864  2,661  6,144 | 10,551  2,483  5,770 | 10,672  2,278  6,039 | 22,242  8,730  10,976 | 30,691  7,729  18,076 | 23,082  7,085  11,699 | 17,482  6,134  8,130 | 16,393  6,095  7,763 | 16,584  5,158  8,086 | 16,470  5,354  8,440 |

＊社会保障関係経費の状況については、５ページ参照。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ≪主なもの≫　　　　　　　　　　　　　　R７当初 | | |
| ・中小企業向け制度融資預託金  ・国保・後期高齢者医療関係費  ・介護給付費負担金  ・私学関係助成  ・障がい者自立支援給付費等負担金 | ５，３３１  ２，３９６  １，２６３  ９７７  ９３７ | 億円  億円  億円  億円  億円 | ・施設型給付費等負担金  ・児童福祉施設事業費  ・GIGAスクール構想加速化基金事業  ・地域医療介護総合確保基金事業  ・児童手当給付費 | | ６２６  ４１４  ２０７  ２０５  １７１ | 億円  億円  億円  億円  億円 |
| ≪増減の大きいもの≫　　R６当初→R７当初 | | | |  | | |
| （補助金等（社会保障関係経費）） | | | （貸付金）  ・中小企業向け制度融資預託金  （その他）  ・子ども食料支援事業費  ・2０２５年日本国際博覧会児童生徒招待事業費 |  | |  |
| ・障がい者自立支援給付費等負担金  ・児童福祉施設事業費  ・施設型給付費等負担金  ・介護給付費負担金  ・後期高齢者医療給付費負担金  （補助金等（その他））  ・GIGAスクール構想加速化基金事業  ・選挙執行費（参議院議員）・国勢調査等調査費  ・私立高等学校等生徒授業料支援補助金  ・生産性向上・職場環境整備等事業費  ・福祉施設、医療機関、私立学校等への光熱費等支援  ・万博推進局運営費負担金 | ＋１５０  ＋７９  ＋９２  ＋６１  ＋４４  ＋１９１  ＋８９  ＋５７  ＋４５  ＋４３  ▲２２７ | 億円  億円  億円  億円  億円  億円  億円  億円  億円  億円  億円 | ▲７３８  ＋２５  ＋１６ | | 億円  億円  億円 |

＜参考＞

○ 2025年大阪・関西万博の成功に向けた取組や、新・成長戦略「Beyond EXPO 2025」の検討状況を

　 踏まえ、速やかに着手する必要のある大阪の持続的な成長・発展のための取組：１０８億円

○ 宿泊税を活用した取組：６２億円　※上記万博の成功と大阪の成⻑に向けた取組に一部含む

**■令和７年度当初予算における社会保障関係経費の状況**

**＜社会保障関係経費の内訳＞**

* 社会保障関係経費（一般財源ベース）は、前年度当初比で107.8％、508億円の増。

単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 科目等 | | R6当初 | | R7当初 | | 増　減 | |
| 総　額 |  | 総　額 |  | 総　額 |  |
| 一般財源 | 一般財源 | 一般財源 |
| 福祉費 | 社会福祉費  重層的支援体制整備事業交付金など | 74  (37) | 55  (37) | 97  (46) | 76  (46) | 23  (9) | 21  (9) |
| 障がい者福祉費  障がい者自立支援給付費等負担金や自立  支援医療費（更生医療）給付費など | 1,008  (862) | 996  (859) | 1,150  (1,014) | 1,137  (1,011) | 142  (152) | 141  (152) |
| 高齢者福祉費  介護給付費負担金や低所得者保険料軽減  負担金など | 1,455  (1,304) | 1,338  (1,304) | 1,508  (1,355) | 1,391  (1,354) | 53  (50) | 53  (50) |
| 児童福祉費  保育所等にかかる施設型給付費等負担金や  児童福祉施設事業費など | 1,303  (1,046) | 1,156  (963) | 1,458  (1,192) | 1,326  (1,099) | 155  (146) | 170  (136) |
| 生活保護費  生活保護給付費など | 46  (45) | 25  (25) | 46  (45) | 26  (26) | 0  (0) | 1  (1) |
| 健康  医療費 | 公衆衛生費等  措置入院及び通院医療費、難病対策費など | 765  (359) | 363  (180) | 671  (390) | 416  (196) | ▲94  (31) | 53  (16) |
| 医薬費  後期高齢者医療給付費負担金や国民健康  保険基盤安定事業費負担金など | 2,604  (2,403) | 2,426  (2,386) | 2,716  (2,412) | 2,444  (2,396) | 112  (9) | 17  (10) |
| 教育費 | 文教諸費等  私立幼稚園等にかかる施設型給付費等負担  金や私立専門学校授業料等減免事業費など | 192  (192) | 164  (164) | 259  (259) | 215  (215) | 67  (67) | 52  (52) |
| 合　 計 | | 7,447  (6,247) | **6,524**  (5,917) | 7,905  (6,713) | **7,032**  (6,343) | 458  (466) | **508**  (426) |

＊（　）内は、法令等によって支出が義務付けられている経費の額。

＊上表の数値は職員人件費を含まない。

＊公衆衛生費等は、環境衛生費、保健所費を含む。

＊文教諸費等は、文教諸費及び大学費のうち、消費税率引上げによる幼児教育・保育の無償化、高等教育の無償化にかかる経費

（国制度分）の額。

**＜地方消費税増収分と社会保障関係経費＞**

・地方消費税率引上げによる増収額（1,245億円）は、全額を社会保障関係経費（7,032億円）の財源

として活用。

単位：億円

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | R6当初 | R7当初 | 増減 |
| 【歳入】　地方消費税のうち社会保障財源相当額（市町村への交付金を除く） | 1,251 | **1,245** | ▲6 |
| 【歳出】　社会保障関係経費（一般財源ベース） | 6,524 | **7,032** | 508 |

**２　歳　入**

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○府税収入  ・令和７年度見込み | １兆６，２８３億円　（前年度当初比　１１１．５％　　＋１，６７４億円） | | | |
| ・実質税収 | １兆４，２９０億円　（前年度当初比　１１０．０％　　＋１，３０１億円） | | | |
| ＊雇用・所得環境の改善や定額減税の影響がなくなることから、個人府民税が増収。  また、企業業績が堅調に推移していることで法人二税が増収となることに加え、物価高や円安による地方消費税の増収、宿泊税制度の改正による宿泊税の増収などにより、全体では令和６年度当初予算と比べ増収。 | | | | |
| 個人府民税 | ３，５４４億円 | （前年度当初比 | １１９．０％ | ＋５６７億円） |
| 法人二税 | ５，６４９億円 | （前年度当初比 | １１０．８％ | ＋５５１億円） |
| 地方消費税 | ４，７７３億円 | （前年度当初比 | １０６．８％ | ＋３０５億円） |
| 宿泊税 | ７３億円 | （前年度当初比 | ２７１．８％ | ＋４６億円） |

・府税収入の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２  決算 | H１９  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 府税収入  実質税収  法人二税 | 14,731  13,510  7,982 | 13,425  11,591  5,667 | 13,039  12,359  4,702 | 12,813  11,347  4,103 | 13,960  12,285  4,565 | 14,521  13,052  4,946 | 14,812  13,246  5,088 | 14,608  12,990  5,097 | 15,827  14,181  5,503 | 16,283  14,290  5,649 |

＊平成29年度以前の府税収入は、地方消費税清算特別会計の設置（平成30年4月）に伴い、関連予算を調整した後の数値。

＊実質税収は、（府税＋譲与税＋精算金収入）－（税関連の市町村交付金、精算金支出、還付金等）。

＊法人二税のピークは、平成元年度（８，３５２億円）。

|  |
| --- |
| ○地方譲与税：１，８２７億円 （前年度当初比　１０９．９％、＋１６４億円）  ・うち特別法人事業譲与税：１，７９０億円（前年度当初比 １１０．３％、＋１６７億円） |

|  |
| --- |
| ○地方交付税：３，３６７億円 （前年度当初比 １０５．６％、＋１８０億円）  ・令和７年度地方財政計画により、臨時財政対策債の発行額はゼロ |

・地方交付税の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９  決算 | H３０  決算 | R1  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 地方交付税  [臨時財政対策債] | 2,448  [1,515] (3,962) | 2,360  [1,532] (3,892) | 2,478  [1,389] (3,867) | 2,594  [1,386] (3,980) | 3,804  [2,800] (6,604) | 3,121  [409] (3,530) | 3,400  [667] (4,067) | 3,187  [310] (3,497) | 3,669  [297] (3,966) | 3,367  [0] (3,367) |

＊（　）内は、臨時財政対策債を加算した数値。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○府　債： | １，１０１億円（前年度当初比 ７２．６％、▲４１５億円）  通常債（※）や行政改革推進債の減少に加え、  臨時財政対策債の発行額がゼロとなり、府債は４１５億円の減。  　（※）地方財政法第５条に基づき公共施設又は公用施設の建設事業費等の財源に充当する  地方債。 | | | |
| ・通常債  ・行政改革推進債  ・臨時財政対策債 | | １，０１３億円  ８８億円  ０円 | （前年度当初比 　　９２．２％  （前年度当初比 　　８１．８％  （前年度当初比 　　皆減 | ▲８６億円）  ▲２０億円）  ▲３１０億円） |

⇒　臨時財政対策債等を除いた府債残高は、平成１９年度以降減少。また、全会計の府債残高も前年度に比べて減少。

・府債発行額の推移　　　　　　　　 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | H２９  決算 | H３０  決算 | R１  決算 | R２  決算 | R３  決算 | R４  決算 | R５  決算 | R６ | | R７  当初 |
| 当初 | 補正後 |
| 一般会計  府債発行額 | 2,404 | 2,413 | 2,314 | 3,087 | 3,682 | 1,132 | 1,331 | 1,516 | 1,266 | 1,101 |
| 一般会計  府債残高 | 53,661 | 53,626 | 53,575 | 54,042 | 55,546 | 54,014 | 52,832 | 51,758 | 51,151 | 48,939 |
| 全会計残高  うち臨財債等残高  うちその他残高 | 61,731  [32,661]  [29,069] | 61,402  [33,089]  [28,313] | 61,065  [33,244]  [27,822] | 61,374  [33,898]  [27,476] | 62,741  [35,550]  [27,190] | 61,038  [34,590]  [26,447] | 59,182  [33,596]  [25,585] | 58,000  [32,321]  [25,679] | 57,345  [32,295]  [25,050] | 54,900  [30,515]  [24,385] |

＊臨財債等とは、臨時財政対策債、減税補塡債、減収補塡債及び臨時税収補塡債。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| ○その他歳入： | ７，５２７億円（前年度当初比 ８９．２％、▲９１６億円）  中小企業向け制度融資預託金の減による貸付金元利収入の減少や財政調整基金繰入金の減少などにより、その他歳入は９１６億円の減。 | | | |
| ・貸付金元利収入  ・財政調整基金繰入金  （交付税精算対応分） | | ５，３９０億円  ５０３億円 | （前年度当初比 ８８．０％  （前年度当初比 ８２．６％ | ▲７３８億円）  ▲１０６億円） |

|  |
| --- |
| ＜参考＞地方交付税算定における精算制度への対応  　普通交付税のうち、国の地方財政計画における国税・地方税見込みと府税等の実績との乖離により生じた増収分については、翌年度以降の普通交付税算定において是正（精算）されることから、当年度の歳入のうち必要な額を財政調整基金に積み立て、年度間の財政調整を行う。 |

|  |  |
| --- | --- |
| ○財政調整基金  の取崩し | ：５２０億円　（前年度当初比 ７６．５％、▲１６０億円） |
| 社会保障関係経費や人件費の増加があるものの、実質税収の増加などにより、財政調整基金の取崩しは、１６０億円の減。 |
|  |

・財政調整基金残高の推移　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　単位：億円

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 年　度 | H２１ | H２２ | H２３ | H２４ | H２５ | H２６ | H２７ | H２８ | H２９ | H３０ |
| 残　高 | 6  (434) | 78  (1,256) | 784  (1,385) | 711  (1,438) | 1,037  (1,500) | 1,039  (1,612) | 843  (1,602) | 544  (1,479) | 584  （1,475） | 1,117  (1,489) |

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | R１ | R２ | R３ | R４ | R５ | R６ | R７ |  |  |  |
|  | 1,148  (1,562) | 1,043  (1,706) | 507  (2,037) | 1,244  (2,171) | 1,619  (2,262) | 1,583  (2,266) | 1,746 |  |  |  |

＊上段は当初見込み、下段は令和５年度までは決算額、令和６年度は６号補正後見込み。

＊上記残高には、地方交付税算定における精算制度等への対応のための一時的な積立分を含まない。

　（参考）財政調整基金の積立て・取崩しについて

単位：億円

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | | 取崩額 | 積立額 | 残　高 |
| ◆ | 令和６年度当初予算編成 | 680 |  | 1,583 |
| ◇ | 令和５年度決算取崩し  （最終取崩しなし⇒決算取崩しなし） | 0 |  | 1,583 |
| ◇ | 令和５年度決算剰余金の編入 |  | 133 | 1,716 |
| ◆ | 令和６年度１号～５号補正 | 161 |  | 1,554 |
| ◆ | 令和６年度６号補正  （取崩額　現計841億円⇒最終　130億円） | ▲711 |  | 2,266 |
| □ | 令和７年度当初予算編成 | 520 |  | 1,746 |